

9 月 度 例 会 山 行 報 告 書			報告者	谷口	参加 メンバー	CL 岸上薫 西川徹郎、鈴木美帆子、 金子清、吉田有希、 吉田大輝、吉田さつき、 澤田愛、小田祐子、谷口壮郎
個人			報告日	9/29		
山域	北海道	山行日	25年9月19日-22日			
山名	暑寒別岳・(天塩岳)・ オダッシュ山					
山行目的	親睦 & 三百名山踏破			コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



25万分の1地図

9/19(金)晴れ
9:00 新千歳空港
11:30 ロイズタウン
12:30 オールドリバー(昼食)
15:00 岩尾温泉あったま〜る
16:15 増毛駅・買い出し
17:15 暑寒別荘(泊)

9/20(土)晴れ→雨
6:00 暑寒別荘 発
8:30 滝見台
9:10 扇風岩
10:00 暑寒別岳山頂
13:45 暑寒別荘 下山
16:00 旭川駅
17:00 当麻ヘルシーシャワー
19:40 天塩岳ヒュッテ(泊)

9/21(日)雨→晴れ
7:00 天塩岳ヒュッテ 発
7:30 倒木箇所 着
10:05 応援到着
10:25 撤去完了
12:45 三国峠
14:00 駒止湖 散策
15:30 カントリーホーム風景
16:00 Aコープ士幌ASPO
16:45 ふれあいプラザ浴場
18:30 ぎまんち

9/22(月) 晴れ
5:45 朝散歩
8:00 ぎまんち 発
9:40 オダッシュ山登山口
11:00 前峰
11:15 オダッシュ山山頂
12:45 登山口 下山
13:25 共働学舎新得農場
16:00 新千歳空港

9/19(金):午前中に新千歳に到着。空港で有希さんからの熊スプレーを受け取り、ハイエスグランドキャビンで出発。道中にあったロイズチョコレートタウンとレストラン「オールドリバー」に寄る。その後「岩尾温泉あったま〜る」で入浴。増毛市街のスーパーとセイコーマートで買い出しを行い暑寒荘に行く。暑寒荘で祐子さんと合流し宴会をし、夜も更けたところで就寝。

9/20(土):明るくなってきたところでラジオ体操をして登山開始。暑寒別岳はスタートから尾根に向かって少し登ったあと、なだらかで広い尾根を登っていく。3合目で一本取り、次は7合目後の眺めがよかったところ一本。その先は急登を登り、無事登頂。下山後旭川駅で澤田さんと合流、当麻町で吉田一家と合流する。セイコーマートでの買い出し後天塩岳ヒュッテに到着。新ストーブをつけ、今日も宴会をし、就寝。

9/21(日):朝起きてからの判断で天塩岳登山は諦めて足寄方面へ向かうことにする。小屋から30分ほど行ったところで木が折れて道路をふさいでいる。どう見てもすぐには通れそうにない。助けを呼びに2時間ほど歩きようやく電波を掴み、士別市の役場に助けに来てもらった。チェーンソーとのこぎりで枝を払い、なんとか脱出できるようになった。再度ぎまんちに向けて出発。南下し駒止湖周辺では晴れており、周辺を散策し、ナキウサギにも会えた。その後買い出し、温泉後にぎまんちに到着。ぎまんちでジンギスカンと鉄板料理で宴会とした。明日の登山の作戦会議。良い山を探していたところオダッシュ山という山を発見。山岳部部長のことが思い起こされるネーミングに一同盛り上がり、登る山が決まった。

9/22(月):朝散歩し、昨晚の宴会の残りで朝ごはんにする。吉田一家、儀間夫妻とお別れをして出発。少し林道を走り駐車場に到着、登り始める。山頂へは1時間半ほどで到着。天気も良く、山頂では十勝平野が一望できるとても良い山だった。下山後、チーズとソフトによったのち空港へ。空港で乾杯。愛知へ帰った。

トラブルありながらも、四日間皆で楽しく行動できた良い北海道旅行でした。(谷口)

「リーダーコメント」 今年は何田さんが足の怪我で欠席となり少し寂しい感じでしたが、吉田ファミリー、祐子ちゃんも、儀間さんご夫妻も現地合流出来て、いつも通り楽しい会になりました。天塩岳ヒュッテまでの林道で閉じ込められた時は、どうなるかと心配しましたが、各自が役割分担をして短時間で脱出出来たことも良い経験になったと思います。これからも、みんなで繋いでいきましょう。

確認
(リーダー)

岸上

作成
(報告者)
谷口

9月19日(金) 新千歳空港～暑寒荘

ひまわり畑



ロイズチョコレートタウン



お昼ご飯



あったま〜る♪



暑寒荘で宴会🍷



午前中に新千歳に到着。空港で有希さんからの熊スプレーを受け取った後、ハイエースgrandキャビンに5人で乗り、ゆっくり出発。今日は暑寒荘への移動日なので時間に余裕がある。道中にあったロイズチョコレートタウンに寄り、チョコの買い出しとソフトクリームを食べる。ロイズを出るとちょうどお昼時だったので続いて海鮮の食べられるレストラン「オールドリバー」で昼食。海鮮丼や鮭御膳をいただく。オロロンラインを走り、増毛町手前の「岩尾温泉あったま〜る」で入浴。その後増毛駅跡でフサフサを祈願し、増毛市街のスーパーとセイコーマートで買い出しを行い暑寒荘に行く。暑寒荘は三階建てで広く、とてもきれいなトイレが離れにあり快適であった。祐子さんとも合流し、たくさん買い込んだ食料を食べながら宴会をし、夜も更けたところで就寝。

9月20日(土) 暑寒別岳

ラジオ体操



利尻山がうっすら見えた



暑寒別岳登頂～！



天塩岳ヒュッテで宴会🍷



朝食にセイコーマートのお弁当食べ起きる。明るくなってきたところで外に出て、一同でラジオ体操をして登山開始。宿泊は自分たちだけだったが、朝に2,3パーティが来ており、熊のことを考えると心強い。暑寒別岳はスタートから尾根に向かって少し登ったあと、なだらかで広い尾根を登っていく。3合目で一本取り、次は6合目でまた一本、と思ったら先頭が6合目で止まらずに6～7合目間の急な登りを登る。7合目を過ぎ眺めがよくなったところで改めて一本。振り返ると海も見えいい山だ。よく見ると利尻山も見えており感動。その先も9合目付近で急登を登り、山頂へ。無事登頂。南暑寒別岳方面には雨竜沼湿原が見えていた。登ってきた別パーティの方々とも会話しながら下山。ちょうどよい山でした。下山後旭川駅で澤田さんと合流する。当麻町で温泉に入ると、偶然？吉田一家と合流する。そこから一緒に行動し、セイコーマートで買い出しをし、林道を走って天塩岳ヒュッテに到着。薪ストーブをつけ、今日も宴会をし、就寝。

9月21日(日) 天塩岳ヒュッテ～ぎまんち



前日の大雨による倒木で立ち往生＼(^o^)／



岸上さんとわんたりりん



とってもかわいいナキウサギ



ぎまんちで宴会



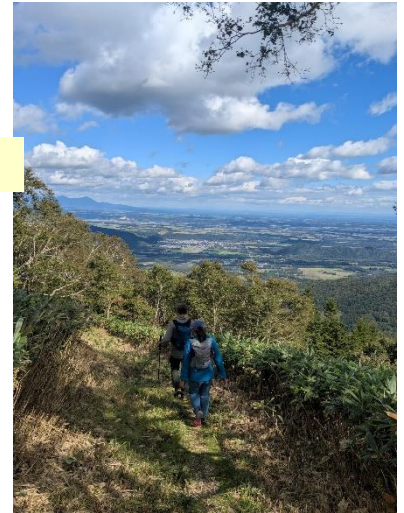
夜中はかなり雨が降ったようだ。朝も雨が続けて降っているのと、風があったので天塩岳登山は諦めて足寄方面へ向かうことにする。朝食を終え、小屋の片づけを行い出発。林道を行くと折れた小枝が散乱しており、降りて撤去に行く。最初は問題なく通れていたが小屋から30分ほど行ったところで径40cmくらいの木が幹から折れて道路をふさいでおり、どう見ても通れそうにない。車を降りて撤去を試みるが重く、全員でかかっても動かせない。隊を分けることにし、①電波の通じるところまで歩き応援を探すグループ、②天塩岳ヒュッテに戻り、使えそうな道具を探すグループ、③ハイエースで体力温存グループに分かれた。①のグループは岸上・谷口が行い、熊スプレーを持ち歩き始める。2時間ほど歩きようやく電波を掴む。土別市の役場に電話をかけたところ、休日にも関わらず電話に出てもらえ、林道管理の担当者につないでもらえる。寒いのでしばらく辺りを歩いて待っていると役場の方の車と合流できた。車に乗り現場に直行。チェーンソーとのこざりて枝を払うと動かせるようになり、なんとか脱出できるようになった。役場の方々に感謝を伝え、ぎまんちに向けて出発。北海道を南下し三ヶ崎を下った頃には晴れはじめたため、駒止湖周辺をナキウサギを見に散歩することにする。その後ソフトクリームに寄り、買い出しに寄り、温泉に寄ったのちぎまんちに到着。ぎまんちでジンギスカンと鉄板料理で宴会とした。明日の天気予報は晴れで、時間があるので山に登る。良い山を探していたところオダッシュ山という山を発見。山岳部部長のことが思い起こされるネーミングに一同盛り上がり、登る山が決まった。

9月22日(月) オダッシュ山

朝のお散歩



オダッシュ山(小田修?)登頂!



朝足寄町内を散歩し、足湯に浸かって目を覚ます。ぎまんちに帰り、昨晚の宴会の残りの焼きそばを調理して朝ごはんにする。山に登る準備をし、吉田一家、儀間夫妻とお別れをして出発。少し林道を走り駐車場に到着、登山開始。地形図からも分かるように、この山はほぼ一定のペースで休みなく登り続ける。部長のような硬派な山だなと話が弾む。登山道はよく刈り払われており歩きやすい。1時間半ほどで山頂に到着。天気も良く、山頂では十勝平野が一望できるとても良い山だった。下山後、チーズとソフトクリームによったのち空港へ。空港で乾杯。愛知へ帰った。